



令和8年(2026年)4月1日、第24代校長に着任しました小野亜希子です。

二俣川高校のHPをご覧くださいありがとうございます。

昭和39年(1964年)本校は、全国で初めての看護教育を行う高等学校として創立し、この4月に63年目を迎えました。卒業生はこれまでに8,900名を超え、その多くが看護・医療・保健・福祉等の様々な分野で神奈川県の人材サービスに欠かせない人材として活躍しています。

本校は、高等学校看護教育における重要な役割を果たしてきた「県立衛生短期大学附属二俣川高等学校」、看護・医療・福祉の分野を中心に幅広く社会に貢献する人材の育成に取り組んできた「県立二俣川看護福祉高等学校」の伝統や校風を継承し、令和7年度、普通科と福祉科を併置する「県立二俣川高等学校」となりました。

普通科は、看護・医療・保健等の進路意識を高めるとともに、多様な進路実現を支援する特色ある普通科として、

福祉科は、福祉の専門的な学びを通して福祉の専門職に向かう基礎的な学力をつけ、将来活躍できる職業人を育成する福祉科として、それぞれ新たにスタートしました。

本校ではこれまでの伝統を継承し、「看護の心」「福祉の心」「奉仕の心」の3つの心を育む教育を行っています。全職員で生徒一人ひとりにしっかり向き合い、日々の学び・学校行事・部活動などの生徒主体の活動を通して、これからの社会を担う心豊かな人材の育成に取り組んでいきます。

本校のグランドデザインに「夢を広げる、夢に近づく」とあります。自分の夢を持ち、ここ二俣川高校で、仲間と夢を語り、夢を広げる。自分とは違う考えや価値観を持つ人と出会い、受け止め、成長し、自分の夢に近づいていく。

生徒の皆さんが「自分らしく」安心して充実した高校生活を送ってくださることを願っています。

令和8年4月

第24代校長 小野 亜希子